



2026年6月11日

各 位

会社名 株式会社ココナラ  
代表者名 代表取締役社長CEO 鈴木 歩  
コード番号 (4176 東証グロース)  
問合せ先 VP of Corporate Management  
国原 啓司  
(TEL 03-6712-7771)

**役務提供プラットフォームで日本初のChatGPTアプリ「ココナラ for ChatGPT」の  
提供開始に関するお知らせ**

当社は、ChatGPT上からココナラを利用できる「ココナラ for ChatGPT」の提供を開始しましたので、お知らせいたします。

生成AIがサービス購買の新たな入口となる中、ChatGPT上でのアプリ提供は世界の役務提供プラットフォームでも一部の先進プレイヤーに限られており、本対応は役務提供プラットフォーム業界として日本初（※）の取り組みとなります。これにより、ChatGPT上で日本最大のスキルマーケットに出品された累積100万件超のサービスにシームレスに発注できるようになります。当社は今後も、AIと人の力を掛け合わせ、一人ひとりが「自分のストーリー」を生きていく世の中の実現を目指してまいります。

記

1. 本サービス開始の背景

近年、対話型AIは情報収集や相談の入り口として急速に生活へ浸透しています。OpenAIによると、ChatGPTの利用者は9億人に達しており（OpenAI調べ、2026年2月発表）、「AIに相談する」という行動様式が一般化しつつあります。一方で、相談の結果から「実際に誰に頼めばよいか」を見極め、数多くの選択肢を比較・検討する手間は、依然としてユーザーの大きな負担となっています。こうした背景のもと、当社は「相談から依頼までの距離」を縮めるべく、ChatGPTとの会話の中から直接サービスを探せる環境を整えました。

2. 主な特徴

- 特徴1：予算・目的に合わせたAIの絞り込み  
「顧客獲得のためのLPを予算20万円前後で制作して欲しい」といった自然な言葉で条件を伝えるだけで、AIが予算や目的に合ったサービスを自動で抽出。検索条件を細かく設定する必要はなく、会話の流れのまま候補を絞り込むことができます。
- 特徴2：一件ごとに「AIによるオススメ理由」を提示  
本アプリの最大の特徴は、提案する一つひとつのサービスに、なぜそれを薦めるのかという理由を添える点です。出品者の実績・評価・専門性などをふまえ、「この依頼にこの出品者が適している理由」をAIが言語化して提示するため、ユーザーは比較の手間なく、納得してサービスを選ぶことができます。
- 特徴3：740種類以上のカテゴリと、実績・評価に裏付けられた信頼

ココナラスキルマーケットには、740種類以上のカテゴリにわたって累積100万件を超えるサービスが出品されており、140万人を超えるスキル登録者数と、62万社を超える法人顧客がプラットフォームを支えています。提案には、出品者の評価やレビュー、販売実績といった当社独自のデータが活用されており、AIによる推薦の確かさを支える基盤となっています。

### 3. 利用の流れ

本アプリは、ChatGPTの会話画面で次の3ステップで利用できます。

1. 「@ココナラ」と入力し、予算や目的、依頼したい内容を伝える
2. AIが条件に合うサービスを、推薦理由とともにカード形式で提案する
3. 気になるサービスのカードをクリックすると、ココナラのサービス詳細ページへ移動する

The screenshot shows a chat interface with a user asking for a PR website. The AI has responded with three service cards:

Service Title	Rating	Price	Provider
成果につながるPRサイト、丸ごと制作します	★4.9 (277)	150,000円	T.studio
SEOに強いサービスサイトをプロが制作します	★5.0 (118)	180,000円	SAKI_design
初心者の方におすすめ！高品質サイトを丁寧なサポートで	★5.0 (362)	170,000円	Kohei Yamada

### 4. 今後の展望

「ココナラ for ChatGPT」は、今後、提案精度のさらなる向上に加え、見積もりや相談など対応機能の拡張を予定しています。今後は他のAIプラットフォームとの接続も積極的に検討し、ユーザーが普段利用するAIの中から、必要なときに当社が抱えるプロ人材やサービスに発注できる環境を広げてまいります。

当社は、生成AIの進展を自社の成長機会と捉え、AI関連領域の流通総額（GMV）拡大に取り組むとともに、AIと人の力を掛け合わせたマッチング体験の進化を続けてまいります。

### 5. 業績への影響

本件が当期の業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、中長期的に当社の業績拡大に寄与するものと考えております。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

(※) 2026年6月時点、当社調べ。国内の役務提供プラットフォームにおいて

本件の詳細は、以下のリリースページも併せてご参照ください。  
<https://coconala.co.jp/news-20260611/>

以上